

活用例（ヘルプカード）

ヘルプカードとは援助を必要としている障がいのある方などが携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカードです。

個人情報の保護に留意して、必要な情報だけを記入するようにしてください。

【記入例】

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード



いなしきし
稲敷市

ふりがな 名前	いなしき 太郎	
住所	稲敷市犬塚 1570-1	
性別	血液型 RH ⁺	生年月日
男・女	A・B・O・AB	1996年6月21日

連絡先 自宅 通勤・通学先 その他 ()

029-888-8888

自宅 通勤・通学先 その他 ()

029-899-9999 (〇〇株式会社)

医療機関 (かかりつけ) 連絡先

〇〇病院 029-877-7777

〇〇クリニック 029-866-6666

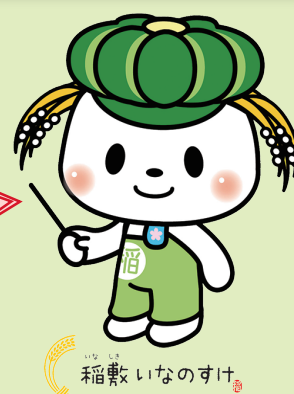
本人の特徴、対応についてのお願
(薬、アレルギー、装具、ストーマなど)

〇〇アレルギーがあります。

携帯方法は、障がい種別、状況、考え方によって異なります。

「ケースに入れてカバンの外に取り付ける」

「財布や定期入れに入れておく」等して、持ち歩きましょう。



●ヘルプカードは表面に記載の場所、または稲敷市役所ホームページで配布しています。



気づいてください。
ヘルプのサイン。

